

私の働き方、非正規雇用の「非」って何？



1980年代までは終身雇用が一般的でした。“正規”と“非正規”などの呼び方もありませんでした。年功序列で賃金が上がリ、労働者が守られている労働法制を快く思わない財界が、低賃金で使い勝手の良い労働者を求めて政府に働きかけた結果、1999年に労働者派遣法が改悪されました。

共産党は
もちろん反対！

そして



派遣できる業務の範囲が大きく広がり、派遣期間の制限も導入されました。

広がる非正規雇用

2023年の総務省労働力調査では、役員を除く雇用者のうち正規雇用者の割合は63.0%、非正規雇用者の割合は37.0%。20年間で非正規雇用者は1.5倍に増え、今や労働者の約4割です。

非正規雇用の7割は女性です。近年増えているのは65才以上の非正規労働者です。2002年の95万人から、2022年には405万人と大きく増えています。

非正規の賃金は正規より3割以上低い！ボーナスがない。有給休暇は？育児休暇は？契約が切られたらどうしよう。

「収入が不安定なので、生活が安定しない。将来が見通せないから、結婚？子ども？踏み出せないよ」

同じ仕事をしてるのに、待遇が違うのはおかしい！



日本共産党は、“生涯ハケン”を押し付ける労働者派遣法の改悪には反対し、正規雇用に戻すべきだと主張しています。働くみなさんの賃金を引き上げ、働く人間を大切にす労働法制、人間らしく働けるルールを確立する方向への転換を求めています。

あつきのぼやき
急に総選挙になったので、スケジュールが滅茶苦茶になって大変でした。毎日候補者と一緒に候補者カーに乗ったり、長時間駅や街角に立っていたので、家に帰るともうクタクタ。夜食のような時間に夕飯を食べる日々でした。
朝起きると背中が重く辛い！「このままではやばい」と、スーパー銭湯で疲れをとり、なんとか乗り切りました。
家の掃除も衣替えもここからです。
頑張る私に、自分でエールを送っています。



大切にしたい、家族との時間、自分の時間

— 生活を楽しむ時間 —



定時に仕事を終えて、保育園にお迎え。家族が揃った夕食は「今日学校でね」と賑やかです。こんな毎日
は贅沢ですか？「帰宅したら子どもの寝顔ばかり見ている」「何もする気にならない」それ
“長時間労働”のためですね。



フランスでは

一人当たりの労働時間を制限することで就労者数を増やし、失業率を下げようとしています。また労働時間を減らして生活の質を上げるにより、労働生産性の改善をめざしています。労働時間は週35時間、有給休暇は年5週間です。

世界一労働時間が短い国

ドイツ (2023年)

政府が法律によって労働時間を厳しく制限し、最低限の休暇日数を保障しています。労働組合の力が強いことも影響しています。これは経済的な目的のためではなく、国民のライフワークバランスを向上させ、個人のプライベートな時間を守るためです。



ドイツの年間労働時間は1343時間、日本は1611時間。労働生産性はドイツが日本より1.5~1.6倍高い。

WOW!



日本の年間労働時間はOECD平均1742時間を下回っていますが、これはパート等の非正規雇用の短時間労働者を含めているからです。

北欧諸国では

週40時間労働制と、制度自体は日本と違いはないですが、**残業する概念がない**上、最低5週間の有給休暇取得が法律で義務付けられています。デンマークとノルウェーも週平均33時間労働です。

資料の出典：OECD Data Explorer(2023)

ヨーロッパでは長期休暇は当たり前です。仕事は早く切り上げてプライベートを楽しむ、そのゆとりが生産性アップにつながるかと考えています。日本もそんな社会にしていきたい。



1日7時間、週35時間働けば、普通に暮らせる社会へ

日本共産党は、“人間らしい生活時間”を確保するための“時短”を求めています。大幅賃上げとセットで自由な時間がふえれば、消費が活発になります。個人の成長、人材の育成は、経済と社会の発展につながります。